

三井のリフォーム 住生活研究所長 西田 恭子

趣味とリフォーム

「西田さんの趣味はなんですか?」と聞かれると、思わず口籠ってしまう。ゴルフはちよぼちよぼ。旅行も趣味といえるほど時間も予算も取れない。仕事以外に心踊るものが何かあるだろうか? と悩みながらモゴモゴ言っているうちに「西田さんは仕事が趣味ですね!」と決めつけられてしまった。

確かにそのとも言えるのだが、まわりを見回してみると、趣味を深めて、輝いている方々がいた。日本酒愛好会ビッグバンドでジャズを演奏、モーターバイクでツーリング、トライアスロン等々。どれもなかなか魅力的だ。そして、どれもそれはリフォームに関連していることに気がついた。

日本酒愛好会の方は、日常の冷蔵庫の他に日本酒専用の冷蔵庫を置く場所があるばかりでなく、それを友と楽しむためのスペースが必要だ。奥様さえいければ家のリビングで会を開くのだが、日本酒嫌いの奥様からはどうもつとまれ、できたら男の城である部屋があり、ミニキッチンでもついでいれば理想的だ。そんな

希望を叶えるために、都会暮らしで車を手放した方は、使わなくなった車庫をリフォームして男の城を手に入れた。出入り口は、ダイレクトに外部から入れるため、気楽に集まれ、奥様もいちいちご主人様の友人に挨拶する必要がなく、ご夫婦双方で喜ばれていた。

また、学生の頃に楽器演奏を経験され、何年もたってから演奏を再開された方もいる。大人の音楽教室から始める方や、個人レッスンに励む方もいるが、すべて日頃の練習あってこそその成果だ。そのため、人に気兼ねなく自由な時間で練習できる防音性能のいいドアのついた音楽室が欲しい! となるのだが、そこまでしなくても、窓にエコポイントを使ってインナーサッシを付けたら、意外にも外への遮音効果があったと喜んでいる方がいた。

ツーリングやトライアスロンで使用するバイクや自転車となると、ママチャリの自転車しか買ったことのない私は、思わず目が飛び出しそうな価格の高さに驚いた。当然外に放置するなど考えられず、屋根のある

建物の中に設置スペースが求められる。壁面に取り付けた自転車は、趣味をインテリアとして示すことができ、手入れはもちろんだが、眺めているだけでも幸せのようだ。

趣味とリフォームのトップは、子供部屋を利用することのようだが、男の書斎だけではなく、最近ではスコナーとしても使われてきている。若い間は夫婦で共通の趣味を持つのが理想と思われていたが、どうも最近は別寝室を含め、それぞれの活動の場を持つことが当たり前になっているようにリフォームを通じて感じている。

一昼夜にして趣味は生まれない。私もそろそろ仕事以外にも何か始めたいものだが、通い出したジムも二回で終了。元陸上部としては、はなはだ情けないのだが、仕事以外に趣味があるということは、本当に人生をより深く豊かにしてくれることだろう。そしてその手助けとして、夫婦それぞれの趣味のために、我が家の利活用を話し合っても良さそうだななど、最近つらつらと考え始めている。



西田恭子氏プロフィール＝一級建築士。暮らしの創造に貢献する「三井のリフォーム 住生活研究所」所長。リフォーム設計の経験を活かし、新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。日本女子大学非常勤講師。インテリア学会会員。日本建築家協会正会員。